

青果用カンショ「べにはるか」の早掘り栽培法			
[要約] カンショ「べにはるか」の早掘り栽培では、黒マルチを使用し、挿苗方法をもぐら植えとすることで欠株が抑えられる。株間は35cm程度とすることで上いも収量が高まる。			
農業総合センター農業研究所	平成27年度	成果区分	技術情報

### 1. 背景・ねらい

早掘り栽培とは4月中～5月上旬に挿苗し、8月上～下旬に収穫する作型である。産地においては周年出荷を確立するために必要な栽培方法だが、低温期の挿苗となるため、欠株が発生しやすく、収量及び品質に課題がある。このため、青果用カンショ「べにはるか」について、早掘り栽培におけるM・L品規格割合を高める栽培法を確立する。

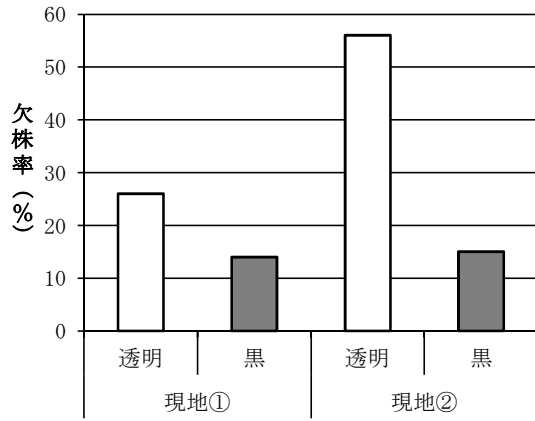
### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 透明マルチ栽培で欠株が25～55%、黒マルチ栽培の欠株は15%程度であり、欠株がより軽微である黒マルチ栽培が適する(図1)。
- 2) 挿苗方法は「もぐら植え」(図2)は「斜め挿し」に対し、欠株が発生せず(図3)、C品の発生を抑制する。ただし、丸品の発生率は高くなる(図4)。
- 3) VF系統の違いによる収量及び品質への影響は、判然としなかった(データ略)。
- 4) 株間は、45cmに対し35cmが、上いも収量がやや増加し、S+M+L品の収量割合がやや高くなる(表1)。H26～H27年の8、9月期における規格別販売単価より販売額を試算すると、株間45cmと比較して、株間35cmは6%売上が向上する(データ略)。

### 3. 成果の活用面・留意点

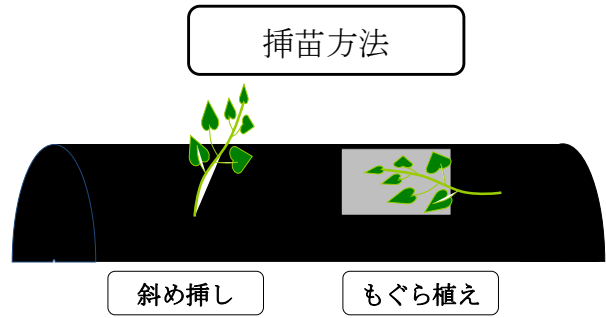
- 1) もぐら植えは丸品の発生率が高まるので、丸品が発生しやすい圃場では斜め挿しとする。
- 2) 早掘り栽培においてはL品を中心にして規格の大きいものが単価が高いため、圃場により株間を適宜拡大する等調整する。
- 3) 本成果は平成25年度～平成27年度、行方地域にて実施した試験に依る。

#### 4. 具体的データ



注) 斜め挿しの3節挿しで挿苗。挿苗期: H26.4.24

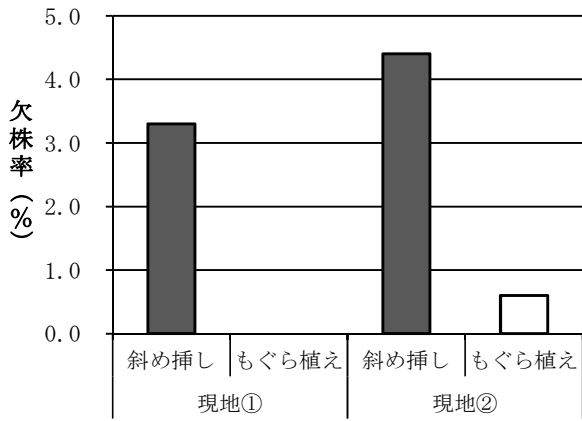
図1 マルチ種類による欠株率の違い(H26)



一般的な挿苗方法

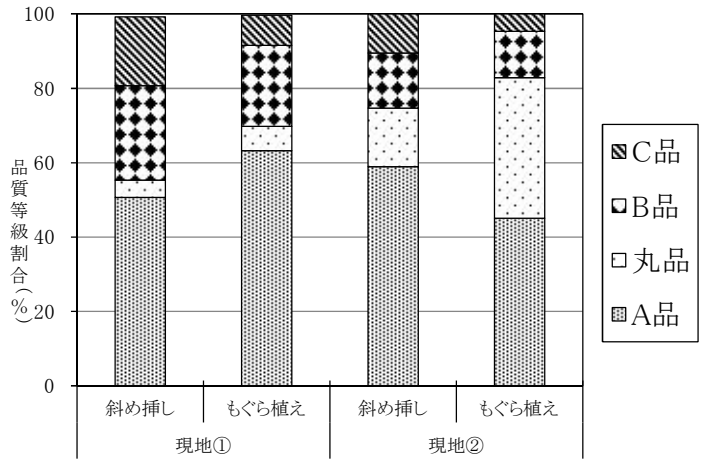
低温期の挿苗に用いられる  
場合がある挿苗方法

図2 斜め挿しともぐら植えの概要



注) 斜め挿しは3節挿し, もぐら植えは2節挿し。挿苗日: H27.4.28

図3 挿苗方法による欠株率の違い(H27)



注) 斜め挿しは3節挿し, もぐら植えは2節挿し。  
挿苗日: H27.4.28 収穫日: H27.8.24

図4 挿苗方法と品質等級割合(H27)

表1 「べにはるか」早掘り栽培における株間が収量・品質に及ぼす影響

株間 (cm)	試験 年次	つる重 (kg/a)	上いも 重 (kg/a)	株当たり 上いも 個数(個)	上いも 1個重 (g)	規格別収量割合 (%)						品質等級割合 (%)				障害いも発生率 (%)					
						2S	S	M	L	2L	3L	A品	丸品	B品	C品	裂開	皮脈	条溝	曲り	くびれ	尻こけ
45	H26	350	194	2.7	256	6	19	26	25	15	8	37	16	26	23	0	3	0	20	24	1
	H27	233	241	3.7	295	3	12	27	26	20	11	55	15	18	11	2	1	3	14	7	0
	平均	291	217	3.2	275	4	15	26	26	18	10	46	15	22	17	1	2	1	17	16	1
35	H26	324	206	2.6	241	7	18	28	26	14	6	44	16	26	15	0	1	0	17	20	1
	H27	231	258	3.4	269	5	16	31	24	17	7	57	13	21	9	2	2	2	17	9	0
	平均	277	232	3.0	255	6	17	30	25	16	7	50	15	23	12	1	1	1	17	14	1

注) 試験場所: 行方市現地圃場において 土壌条件: 淡色黒ボク土 畦幅: H26: 平均92cm、H27: 平均98cm

挿苗日: H26.4.24, H27.4.28 収穫日: H26.8.20, H27.8.24

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

カンショ「べにはるか」の高品質安定栽培技術の確立・平成25年度～・作物研究室